「協同病院移転後の病児保育事業について」

Q.秋本議員：協同病院と共に移転した、本市の委託で運営する病児保育室「みどりっこ」の移転後の施設の特徴について伺います。

A.市答弁：「陰圧室」の新たな設置により、これまで受け入れ不可能だったインフルエンザや百日咳に罹患した児童の受入れが可能となったことから利便性が向上したと考えられます。

［要望］秋本議員：協同病院では移転後も橋本駅北口近くの「JA健康センターさがみはら」で人間ドッグを行っています。病児保育等も駅近の方が保護者の利便性も増し利用率の向上を図ることができるのでは。子育てと仕事の両立を支援する大変重要な支援です。今後、開設場所についても、保護者に寄り添った、駅近く等、より利用しやすい環境の整備に取り組むよう要望します。